夏見の歴史と文化財

さん室)のお話をまとめたものです。の綿貫啓一氏(船橋市教育委員会市史編平成元年八月、八栄小職員研修において

夏見の地名と区域の変遷

勢神宮の荘園となり、記録に残されたからです。 夏見は古くから知られた地名です。それはこの地方が平安時代に伊

江戸時代の夏見は、東夏見村と西夏見村に分かれていました。
知一五年に夏見町一・二丁目に変わりました(一丁目は主に西夏見、
和一五年に夏見町一・二丁目に変わりました(一丁目は主に西夏見、
を表表した。ただし一部に今も夏見町二丁目が残っています。
夏見の語源については諸説があります。①日本武尊が東夷征伐の折り、当地で神鏡の輝く船を見たのが夏であったから、②景行天皇が当り、当地で神鏡の輝く船を見たのが夏であったから、②景行天皇が当り、当地で神鏡の輝く船を見たのが夏であったから、②景行天皇が当り、当地で神鏡の輝く船を見たのが夏であったから、②青行天皇が当り、当地で神鏡の輝く船を見たのが夏であったから、②青行天皇が当り、当地で神鏡の輝く船を見たのが夏であったから、③昔夏見の南方前面葉がわからない里人は「なつみ」と答えたから、③昔夏見の南方前面葉がわからない里人は「なつみ」と答えたから、③昔夏見の南方前面が海の時代に「南津海」と言ったのが、後に「なつみ」に縮まった、の昔夏見の前面が海であった時代に、磯菜を摘んで神にささげたから、⑤「なつみ」は「肴つ霊」で、魚や野菜等の副食物の神のことであろう、等です。

が、証拠が弱いと考えられます。 ①②③説は多少可能性があります

名語源辞典』)の二説であろうかと考えられます。
ナヅ(撫)・ミの転で「崩壊地形・浸食地形」をいうかとする説(『地方から、「泥地、湿地」の称であろうとする説(『古代地名語源辞典』)。実際に語源として可能性が高いのは、古語で泥のことをナヅミとい

夏見の歴史

から発見された先土器時代の石器で、一万数千年前のものと推定されから発見された先土器時代の石器で、一万数千年前のものと推定され、現時点で知られる夏見の最古の遺物は、薬王寺南西の坂の切り通し

また、夏見の台地は現在までに十数回にわたって発掘調査が行われまた、夏見の台地は現在までに十数回にわたって発掘調査の結果は、夏野・夏見大塚遺跡から多数発見されています。弥生時代の遺跡は八栄北遺跡(夏見台小学校敷地)で、縄文前期(五年十七百~千八百年前)(写真①)。古墳~平安時代の住居址は夏見台遺塚・夏見大塚遺跡から多数発見されています。弥生時代の遺跡は夏見大塚遺跡と夏見大塚遺跡からあまり途切れることなく、ムラが続いて来見台地上では弥生後期からあまり途切れることなく、ムラが続いて来見台地上では弥生後期からあまり途切れることなく、ムラが続いて来見台地上では弥生後期からあまり途切れることなく、ムラが続いて来り、夏見の台地は現在までに十数回にわたって発掘調査が行われまた、夏見の台地は現在までに十数回にわたって発掘調査が行われまた、夏見の台地は現在までに十数回にわたって発掘調査が行われまた、夏見の台地は現在までに十数回にわたって発掘調査が行われまた、夏見の台地は現在までに十数回にわたって発掘調査が行われまた、夏見の台地は現在までに十数回にわたって発掘調査が行われまた。

とされ、夏見御厨(一名船橋御厨)と称されました。この付近を支配平安時代後期の保延四年(一一三八)に夏見周辺が伊勢神宮の荘園

ことは分かりません。 守るために、半ば名目上の寄進をしたものと考えられますが、 していた在地領主が、 在地の土豪等に横領されて伊勢神宮管下でなくなったと考えられます。 た。この御厨がいつ廃されたかは不詳ですが、 夏見御廚からは神宮と神官に布を納めていまし 他の在地領主や国司等の侵略から土地の権利を 室町時代前半頃までに 確かな



写真① 夏見台遺跡の住居跡の・ -部(古墳後期~平安初期)

ます に一郭分の遺構がありますが、他は崩されて元の規模については不詳 賀守は里見義明旗下で、 は夏見加賀守政芳と言われています。長福寺の過去帳によれば夏見加 室町時代の後半頃、夏見には城が作られました。戦国時代末の城主 (夏見加賀守のことは他には確証がありません)城址は寺の右奥 永禄七年(一五六四)に討ち死にしたとあり

です。

とあって解釈に苦しみます。あるいは田島分が東・西に入れ替わった 旧領取調帳』には東夏見一四七石七斗五升・西夏見二二八石六斗一合 見一二六石七斗五升・西夏見一四四石六斗一合、明治初年頃の 氏は一、五五〇石の旗本でした。江戸時代の両夏見の石高は、 時期があるのかも知れませんが、現時点では未詳です。天保年間(一 七九石六斗一合とあり、 郷帳」(元禄一五・一七〇一)に東夏見一九六石七斗五升・西夏見一 氏と旗本朝比奈氏の知行地とされました。遠山氏は五〇〇石、 五四戸・三七〇人でした。 轄となりました。明治五年の戸口は東夏見七二戸・四七六人、西夏見 と県の興廃によって所轄が変わり、六年に千葉県が成立するとその所 八三〇年代)の戸数は東夏見七五戸、西夏見三八戸と記されています。 明治に入ると、当地方は二年(一八六九)に葛飾県、四年に印旛県 江戸時代には、夏見は東夏見村と西夏見村に分けられ、 『村々高帳』 (享和三・一八〇三)には東夏 旗本の遠山 朝比奈 『旧高 『元禄

はその大字となりました。 米ケ崎、 明治二二年に町村制が施行されると、東夏見、 七熊、二和、三咲の八ケ村が八栄村を組織しました。両夏見 西夏見、

ため従業者の住宅が必要となり、夏見台地に営団住宅が建設され、 六四人でした。 船橋市が成立しました。 昭和 その前後に船橋郊外には、 船橋町・葛飾町・八栄村・法典村・塚田村が合併して 一四年の夏見の戸口は合計一七二戸・一、〇 軍事関係の工場が進出した

七年から入居が始まり、人口が急増しました。(写真②)

戦後の夏見は昭和三〇年代以降著しく人口が増加してきました。三



○九五、六○年に二二、一八三と激増して来たのです。○年に五、二四二であった人口は、四○年に九、四四二、五○年に一九、

の比重が年毎に大きくなっています。知られました。しかし、近年はその面影は大幅に薄れ、住宅街として帯〟として知られ、大正時代以降は〝市内有数の野菜産地〟としても、夏見地区は、江戸時代から昭和四○年代まで〝市域指折りの良田地

夏見の史跡と文化財

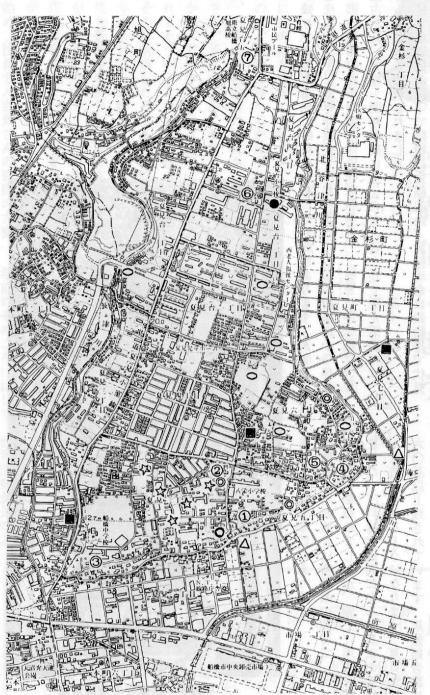
塙塚稲荷…船橋中学校敷地南端にあります。

たとも伝え、古墳であったと推定されています。伝説では大鹿山長ここにはかつて塙塚と言う古墳状の塚があり、武具や馬具を出土し

等の出っぱった部分のことです。生いいますが、史実とは考えられません。はなわというのは台地埋め、時平の法名大悲院殿花輪平公大禅定門に因んで花輪塚と称し禅寺を建立した織部時平の家臣が、その没後に遺品を持ち来たって

再興したと伝えます。古くは天台宗であったのを、江戸前期に曹洞といい、その後一時空白の時期を経、戦国時代に夏見加賀守政芳が天皇の時代に、法橋定朝作の聖観音を祭る堂宇を建てたのが創始だ長福寺…夏見山と号し、旧東夏見の寺。縁起によれば平安中期の円融

られ、古寺であることを物語っています。寺入り口右に亀(亀趺)三五)の胎内銘があります。墓地には江戸初期寛永年間の墓石も見 七 上に 与えられており、また下総札所の第一番寺でした。前期の 左に「下総三十三所」の字を刻んだ楊柳観音石仏 宗に改めたといい (本尊) (写真③) は市指定文化財で、 があります。また前記のように寺右奥には戦国時代頃の城の土 「不許葷酒入山門」の字を刻んだ結界石 ます。西船の宝成寺末で、幕府から朱印地 室町時代の天文五年(一五 (寛政四・一七九二)、 (明和四 ・一七六 聖 五



①薬王寺 ②日枝神社 ③塙塚稲荷 ④長福寺 ⑤稲荷神社 ⑥笹塚稲荷 ⑦白旗権現 ◎庚申塔群 ■馬頭観音群 △弁天·水神 ○道祖神 ☆夏見大塚遺跡 ○夏見台遺跡 ●八栄北遺跡



塁が残り、その東端部に妙見尊を彫った石祠があります(天明五 当寺も戊辰戦争で焼かれました。 を最古とし、元禄~明和年間に地元の女人達が造立したものです。 七八五)。その手前には近年に寺の西約三〇〇米の墓地から移し 市内有数の古さの十九夜塔群があります。貞享二年(一六八五)

庚申塔…庚申信仰は古代に中国から伝わった長寿を願う信仰でしたが、 稲荷神社…東夏見の鎮守で祭神は倉稲魂命。倉稲魂命は穀物神で伏見 られます。境内にはやはり富士塚があり、拝殿左に妙正大明神(疱 場所(夏見で最古の元禄一四・一七〇一の塔があります)、夏見六 をして広まりました。夏見地区の主な庚申塔は、夏見三丁目墓地傍 稲荷の祭神であり、この稲荷神社も伏見稲荷を勧請したものと考え 日本で独自の発達を遂げ、無病息災・村内安全等を祈るものに転化 瘡除けの神)石祠等があります。 日枝神社入口、ひまわり幼稚園前の道を東進した突き当たりの

その他…前記の外に、夏見台四-一五に笹塚稲荷、

夏見台五

や巡拝塔があり、同校西の坂途中にも地蔵・馬頭観音があります。

幡)権現等があります。また、船橋中学校南西の墓地には廻国塔

二九の坂下り口にあります。

馬頭観音…馬頭観音は密教系の観音で、元々は動物の 弁天・水神…共に水の神様として、泉・池・井戸・川の傍らに造立さ 六○基以上残されています。馬頭観音群は夏見三−八に旧田島のも ました。江戸時代後期になると農家の愛馬の供養塔・墓石として盛 れています。夏見では北谷津川・念田川合流点や夏見五-三の路傍 の(夏見で最古の天明二・一七八二の塔があります)、夏見六ー七 ではありませんでしたが、頭上に馬頭を戴くことから馬と結びつき の泉脇等に見られます。 に旧西夏見のもの、夏見七-一一に旧東夏見のものがあります。 んに造立されるようになります。夏見地区は馬頭観音の多い所で、 一九に白旗

船橋市立八栄小学校P·T·A

創立百周年記念事業実行委員会

「創立百周年記念『やさかえ』」記念誌編集委員会編集

(平成四年三月七日発行)より